

第 25 回 糸 賀 一 雄 記 念 賞 受 賞 者 ・ 団 体 紹 介

山上 徹二郎 氏(東京都中野区)



■経歴

1954 年 熊本県生まれ

1986 年 映画製作・配給会社(株)シグロを設立、代表となる。

以後、信楽青年寮を舞台とする「しがらきから吹いてくる風」(1990・監督：西山正啓)、障害者の作品を芸術として捉えた「まひるのほし」(1998・監督：佐藤真)、盲ろう者をテーマにした「もうろうをいきる」(2017・監督：西原孝至)、東日本大震災から 12 年目のいまをテーマにした『さよならほやマン』(2023・庄司輝秋) など、既存のジャーナリズムが伝えない事象やテーマにこだわり、映画プロデューサーとしてこれまで 80 本を超える映画製作・配給を手掛ける。

2008 年 バリアフリー映画研究会を設立。

■活動内容

- ・ 障害者の生活や芸術活動をテーマとするドキュメンタリー映画や劇映画など高い評価をうける作品を数多く製作されている。
- ・ 2008 年のバリアフリー映画研究プロジェクト発足後、バリアフリー映画の上映会を各地で開催し、2011 年から 5 年にわたり東京国際映画祭にてバリアフリー映画の上映を実施し、映画業界のバリアフリー映画に対する理解・認識を促進するなど、先駆的にバリアフリー映画の世界を切り拓いた。こうした映画や演劇のバリアフリー化に関する研究・実践の取り組みにより、音声ガイドを必要とする方へのサービス提供について、2016 年 8 月よりUDCast を使った一般映画館での音声ガイドの提供が実施されるなど、障害者の芸術文化へのアクセシビリティの向上に多大な貢献をしている。

障害者の生活や芸術活動をテーマとする映画を多数製作されており、また、映画や演劇のバリアフリー化にも取り組まれ、障害者の芸術文化へのアクセシビリティ向上にも貢献されている。こうした傑出した取り組みが評価され、また、今後一層の活躍が期待されるとして、糸賀一雄記念賞の受賞となりました。